

**湖西市新庁舎建設基本構想(案)のパブリックコメント  
ご意見の概要と市の考え方について (結果)**

**1 募集期間**

令和6年2月7日(水)～令和6年3月7日(木)

**2 募集結果**

(1) 意見提出者: 8名 (提出方法 メール (7名)、持参1名)

(2) 意見数: 24件

No.	ページ	項目	ご意見	市の考え方
1	2	湖西市人口	2040年湖西市の人口45,985人とあり市の基準50,000人を満たしておりません。新庁舎建設は必要ないと考えます。また、市長は市役所に来ない庁舎を提唱しているので、現在のままで良いのではありませんか。玄関入口に案内嬢も配置してますし、芝生部分も広く残っているので、その部分への建て増し、ホール部分の拡充、吹上ホール2階部分のフロア化等で分かりやすい課配置庁舎化が可能と思います。かつての袋井市役所庁舎は、市民のために新市庁舎を我慢し、後回しでした。近隣市町の状況は勉強しましたか?この計画は、新市民会館隠しと思えて仕方ありません。頑なに、文化の殿堂市民文化会館建設を外していると思えません。なぜか、回答が欲しい。	湖西市の推進する『「行かない」「書かない」市役所』は、市民の利便性向上を目的としたものであり、新庁舎建設は、現庁舎の老朽化をはじめとする様々な喫緊の課題を解決するとともに、人口減少が進む中で誰もが親しみやすく自然と集いなくなる場所を目指すものです。また市民交流複合施設建設につきましては、平成30年度の市民会議のメンバー、各関係団体、地元高校生など計21人で組織する「市民交流複合施設関係団体等意見交換会」を令和3年3月及び4月に計2回開催し、結果報告を受けて令和3年7月にロードマップの見直しを行いました。これにより、まずは新居地域センター改修、給食センター建設、施設の老朽化が進み喫緊の対応が必要である防災センター機能を備えた消防庁舎、市役所庁舎及び市立湖西病院の建替えを優先させることといたしました。市民ホール機能を持つ新居地域センターの改修にあたっては、利用団体等との意見交換を重ね、ホールの階段や空調、トイレの改修、バリアフリー化などを行い、利用者にとって使いやすい施設となります。改修後は、文化芸術、社会教育、自治活動等の拠点として、多くの団体や市民の皆様積極的に活用いただくことを期待しております。
2	5	耐震状況	平成14年に静岡県地震地域係数Zsの改定が行われたことから、現在の耐震性は不十分であると思われる。	ご意見ありがとうございます。 耐震補強工事を実施した平成8年度当時は計画目標を達成しましたが、平成14年静岡県地震地域係数Zsの改定されたことを考慮し修正します。
3	11	アンケート	58000人の人口に対し722名の回答は、新庁舎建設という重要な案件に関して参考にするにはあまりにも少なすぎます。	ご意見ありがとうございます。 統計学を用いて計算すると、382件以上の回答があれば、383～58,000人の回答があった場合と比較したとき、95%の確率で5%以内の誤差に収まることとなります。このことから722名の回答は市民意見の傾向を把握するというアンケートの趣旨を踏まえると十分と考えております。詳細内容は、今後実施予定の基本計画や基本設計等にて検討、決定していきます。また、令和6年度は市民の皆様を交えて会議を行うとともに、再度パブリックコメントを実施し、市民の皆様意見を広く取り入れたいと考えております。

No.	ページ	項目	ご意見	市の考え方
4	11	市民アンケート	回答者数722名は有権者数約46,500人に対しても極少数(約1.6%)であり、市民総アンケートを実施すべき。	ご意見ありがとうございます。 統計学を用いて計算すると、382件以上の回答があれば、383~58,000人の回答があった場合と比較したとき、95%の確率で5%以内の誤差に収まることとなります。このことから722名の回答は市民意見の傾向を把握するというアンケートの趣旨を踏まえると十分と考えております。 詳細内容は、今後実施予定の基本計画や基本設計等にて検討、決定していきます。 また、令和6年度は市民の皆様を交えて会議を行うとともに、再度パブリックコメントを実施し、市民の皆様意見を広く取り入れたいと考えております。
5	11	市民アンケート	設間を見ると新庁舎が必要誘導質問となっている。新庁舎ありきですね。まず新庁舎があるのかいらないか、問ってなく、つぶした市民文化会館の再建を選択肢に入れてないのは、健全なアンケートといえない。	ご意見ありがとうございます。 今回実施した市民アンケートは、老朽化した現庁舎の建設方針等の検討にあたり、市民の皆様のご意見やご要望を基本構想に反映できるよう実施したものであることから、市民文化会館の再建は選択肢を設けておりません。
6	11~16	市民アンケート調査結果における基本構想への反映について	市民アンケートの調査結果を基本構想に反映するならばの大前提において、調査内容の項目に「市役所利用者の利用目的」を調査する項目か、それに代わる指標が必須と考えます。 市民が市役所を訪れるニーズ(各種手続や、その他の目的)と、アンケートの設問に従った新市役所にあればいいという願望とを区別することで、付帯させたい機能の可否や必要な機能や設備の適切な規模の判断をしやすくなると考えます。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
7	13,14	4 市民アンケート (2)市民アンケートの結果概要 問6.新しい庁舎(市役所)に求めることや期待するイメージ	高い省エネルギー性能と快適な室内環境の両立に対して期待されておりますが、再生可能エネルギー、都市ガス、電気等エネルギーのベストミックスにより、省エネルギーと光熱費の削減を図ることが望ましいと思います。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

No.	ページ	項目	ご意見	市の考え方
8	15	喫茶店（カフェ）やコンビニなどの商業施設の併設	アンケート結果における、喫茶店、コンビニ、商業施設の併設について。無作為の市民に対するアンケート結果の場合、普段訪れることの少ない市役所に商業施設があっても仕方がないという意見が当然多くなると思われます。特にコンビニは生活圏の中にあることで便利な施設だからです。この設問は市役所に訪れる前提の方々を対象にするべきで、市役所に訪れる市民や事業者、市役所職員が働く中で利用するか否かを調査するべきです。そのデータをもとに必要な必要でないかをフランチャイズのオーナーと協議する問題ではないでしょうか。その他、土日営業、近隣にある商店の妨げにならないか等などの想像できうる事情を加味して考え、市民アンケートに頼らず、合理的であれば設置した方が良いと考えます。	ご意見ありがとうございます。 近年新庁舎を建設し、コンビニエンスストア又は売店を併設している先進市においては、出店先を誘致することが困難であると拝聴しました。ニーズ等を見極め合理的に判断したいと思います。
9	16	Q8新庁舎（市役所）の建設場所から読み取れる内容	第6次湖西市総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画等に従い、鷺津地区への新庁舎の建設が計画されています。 市民アンケートQ8の設問のアンケート結果を見ると、1位に選ばれている「現庁舎（市役所）の位置又はその近くであること」231件（n=720件、鷺津中学校区212名）の内、上記を選んだ回答者の多くは鷺津中学校区の住人と推測されます。 当然、自分が在住する地域に市役所があってほしいと考えたいと思いますが、その他（鷺津以外の地域）回答者の多くは現庁舎近隣の建設場所に重点を置いていません。 したがって、現庁舎もしくは近隣に新庁舎を建設の場合、人流や利便性に大きく変化は無いと思われるため、経済的効果の見込みは薄く、よほど集客を見込める施設を付帯する以外は、Q7の2位回答「無駄のない新庁舎」を考慮し、過度な新庁舎への投資を行わないことが市民のニーズと捉えるべきです。 むしろ、市民へのサービスだけでなく、新庁舎で働く市役所職員の方々の意見を反映し、職場として機能的な新庁舎の構想を考えた方が客観的に見ても最良の選択です。	ご意見ありがとうございます。 今回実施した市民アンケートと同時に、職員アンケートも実施しております。市民ニーズのみならず職員ニーズにも応えた機能を検討してまいります。
10	17	「行かなくてもいいけど、行きたい場所」	意味不明です。庁舎が新しくなって喜ぶのは市の職員だけだと思います。市民の要望の優先順位は低いため、少子化人口減を踏まえた最低限の庁舎で十分だと思います。	ご意見ありがとうございます。 市民のご意見を参考に、今後実施予定の基本計画や基本設計等において必要機能を含めた新庁舎の在り方を検討してまいります。
11	17	行かなくてもいい場所	行かなくてもいい場所とするなら、新庁舎は必要なし。希望制のリモートワークを制度化すればフロアはかなり省力化できる。先日、市民課にいった際、カウンターのアクリル板をたたき空いている職員を呼ぶほどであった。市民課ほど職員を多く配置し対面接客、記載相談に配慮すべき。待たせない窓口を目指していないので職員資質のcity化を図ることが先で、新庁舎建設に反対です。いまだにトイレが和式、年寄り立ち上がりせん！行きたくない場所です。	「行かなくてもいい場所」であっても、現庁舎は築49年を経ていることから老朽化が喫緊の課題となっており新庁舎建設の検討は必要であると考えております。 また、ご指摘のとおり、リモートワーク（テレワーク）やフリーアドレスを採用した際は延床面積を抑えることが可能であると考えております。すでにリモートワーク（テレワーク）は導入しており、フリーアドレスの導入については、今後実施予定の基本計画や基本設計等にて決定していきます。 トイレについては、現庁舎においては男女ともに各階1カ所ずつ洋式便所を設けておりますが、ご迷惑をおかけしておりますとおり設置箇所が少ないため、新庁舎では洋式便所、和式便所のニーズに合わせ、必要数を検討してまいります。

No.	ページ	項目	ご意見	市の考え方
12	17	5 新庁舎建設の基本的事項 (2)基本方針	今年に入り、能登半島地震が発生し、インフラの重要性が再認識されています。誰もが安心して使いやすく快適なサービスを提供する庁舎とありますが、エネルギーを分散化させ、BCP対策として最適なインフラ供給（照明・電気コンセント・空調等）を備え、万一の災害時にも庁舎の機能を訪問できるサステナビリティ性を持つべきだと思います。 ゼロカーボンについて、ZEBの認証取得に必要な省エネの高度化と再生可能エネルギーの最大利用を実現するとともに、電力のゼロカーボンを庁舎敷地内のオンサイトの太陽光発電等再生エネの自家消費のみで庁舎の電力需要をすべて満たせない場合には、市有の遊休地等を活用した再生エネ由来の電気の施設間融通を含め市有施設全体で最適利用を検討する必要があると考えます。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
13	18	新庁舎の機能 ①分かりやすい窓口	以前、市民課に行って手数料払ったのに払ってないと言われた。領収書を見せても払ってないと言われた。また、収入印紙も出納室で買ったのに案内もなかった。対応する窓口職員の適切な対応、資質を上げるべきでしょう。新庁舎建設は時期尚早で反対です。	ご意見ありがとうございます。 現庁舎は、昭和49年に建設され、49年が経過していることから、設備機器なども含めた老朽化が進んでおります。平成22年3月新居町との合併による行政規模の拡大に伴う執務室等の不足、バリアフリー化、不明瞭な窓口、窓口の点在等、課題が顕在しております。今後も進展する少子高齢化、DXの進展に対応する行政サービスの提供、効率的な行政運営の推進のため、新庁舎の建設が重要となってまいりますので、時期尚早とは考えておりません。 また、新庁舎建設の検討と併せて、引き続き職員への研修を進めてまいります。
14	20	太陽光パネルの設置	太陽光を設置するのであれば、製造時のCO2排出量、寿命を迎えた廃棄のコストまで考えて湖西市にとってメリットがあるという根拠を示していただきたい	ご意見ありがとうございます。 本構想（案）に記述している新庁舎の機能については、参考例としております。 詳細内容は、今後実施予定の基本計画や基本設計等にて検討、決定していきます。
15	20	湖西らしさの展示	湖西らしさを感じられる展示に、豊田佐吉翁がなく牧野、宮崎オリンピック金。銀メダリスト、北原白秋、小林清親もなく湖西市が分かってないですね。先人への感謝が感じられません。新庁舎建設反対です。	ご意見ありがとうございます。 豊田佐吉翁を代表する湖西市の偉人の展示に関しましては、参考例として挙げている「湖西市紹介コーナーの設置」に含まれるものと考えております。 詳細内容は、今後実施予定の基本計画や基本設計等にて検討、決定していきます。

No.	ページ	項目	ご意見	市の考え方
16	21	行政機能集約	行政機能面からの集約よりも市民の利用面利便性からの集約を検討すべき。 市役所・市民病院・健康福祉センター・市民会館(活動センター)等の複合又は同一敷地内建設	ご意見ありがとうございます。 現庁舎は窓口が各施設に点在していることから、市民の皆様にはご不便をおかけしているところでございます。 集約対象施設及び集約可否については、今後実施予定の基本計画や基本設計等において検討、決定していきます。
17	22	各施設と成り立ち	文化協会など、市行政協力団体の事務所配置を考慮していないので反対です。	ご意見ありがとうございます。 市行政協力団体(外郭団体)の事務所配置については、今後実施予定の基本計画や基本設計等において検討、決定していきます。
18	26	建設位置	来庁者のほとんどは自家用車であることから、駐車場及びバス・タクシー利用が出来ればよく現庁舎付近に限定する必要はない。	ご意見ありがとうございます。 新庁舎の建設候補地は、地方自治法第4条第2項の「地方公共団体の事務所の位置を定め又はこれを変更するにあたっては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない。」に準じるとともに、湖西市のこれからの目指すべきまちづくりの方向性を市の成り立ち上位計画、地域防災計画の考え方及び公共交通の現状を踏まえ整理し検討しております。 建設予定地については、今後実施予定の基本計画等において検討、決定していきます。
19	27	9 建設位置の候補地 (1)考え方 ⑤地域防災計画	地域防災計画で防災拠点に位置付けられ有事に災害対策本部が設置される可能性があることを踏まえ、災害に強い強靱な庁舎としての機能が求められます。 アンケートで期待されている建物の耐震性を前提に、優れた強靱性を有するインフラを活用したエネルギーの多重化により継続して利用可能なバックアップ電源等を整備しレジリエンスの向上を図ることが重要です。また、経済合理性や平常時の省エネ・省CO2を加えたS+3Eの視点でエネルギー種を限定せず検討しベストミックスを図ることが有効であると考えます。 都市ガスのインフラは候補地となっている現庁舎および健康福祉センター南のいずれのケースにおいても耐震性が高く供給信頼性を有する中圧供給の引き込みを検討できる環境が整っており、これらを活用した自立・分散型のエネルギーシステムはレジリエンスの向上と徹底した省エネに資するものと考えます。	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

No.	ページ	項目	ご意見	市の考え方
20	29	(3) 候補地	<p>どちらのエリアも地震時の液状化の危険性が高い区域である旨と、それでもあえて候補地とする理由を記述する必要があります。用地に「借地」があるが過去には借地解消を積極的に進めていたと思うが、建替えは借地解消の絶好の機会になると思われるが、将来にわたる市庁舎用地の借地に対する考え方も記述した方が良いと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、候補地に挙げている2つのエリアは液状化の危険性が高い区域となっていますので、追記いたします。 また、将来にわたる市庁舎用地の借地に対する考え方については、今後予定している建設予定地の決定で記述してまいりたいと考えております。</p>
21	29	候補地	<p>市役所は、大震災発生時に復興支援拠点となる為、災害の影響(液状化)を極力受けない場所を選定すべきである。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 建設予定地については、今後実施予定の基本計画等において決定していきます。 なお、本構想(案)において記述しております2つの候補地におきましては、液状化危険があるため大規模な地盤改良が必要になると考えております。</p>

No.	ページ	項目	ご意見	市の考え方
22	29, 30	新庁舎候補地	液状化の土地に建設して良いとは思えません。警察、消防、その上市役所まで液状化してしまったら、機能不全に陥るため、ぜひ他候補地もご検討頂きたい。この2つの候補地のみという事でしたら、液状化しても大丈夫という根拠を示していただきたい	ご意見ありがとうございます。 建設予定地については、今後実施予定の基本計画等において決定していきます。 なお、本構想(案)において記述しております2つの候補地におきましては、液状化危険があるため大規模な地盤改良が必要になると考えております。
23	31	事業手法 建物リース方式	建物リース方式ならトヨタ文化振興財団に頼み、市庁舎に替え、先に市民文化会館を建てればよいでしょう。トヨタ記念文化ホール(800～1000キャバ)とすれば命名権と合わせ建設しやすいではありませんか。本市は豊田佐吉翁生誕の地で、よそのようにただのゆかりの地ではありません。トヨタに頭を下げるべきでしょう。市民が欲しがっているのは、市民文化会館。市庁舎を欲しいと言ってる市民を聞いた事ありません。旧市民会館は、市議会に事前の相談、承諾無しの突然閉鎖、取り壊し。以来、市民の文化活動は停滞、活動停止、縮小、廃部を余儀なくされております。市の文化行政に不審、不安を覚える市民多数です。	ご意見ありがとうございます。 市民交流複合施設建設につきましては、平成30年度の市民会議のメンバー、各関係団体、地元高校生など計21人で組織する「市民交流複合施設関係団体等意見交換会」を令和3年3月及び4月に計2回開催し、結果報告を受けて令和3年7月にロードマップの見直しを行いました。これにより、まずは新居地域センター改修、給食センター建設、施設の老朽化が進み喫緊の対応が必要である防災センター機能を備えた消防庁舎、市役所庁舎及び市立湖西病院の建替えを優先させることといたしました。 市民ホール機能を持つ新居地域センターの改修にあたっては、利用団体等との意見交換を重ね、ホールの階段や空調、トイレの改修、バリアフリー化などを行い、利用者にとって使いやすい施設となります。改修後は、文化芸術、社会教育、自治活動等の拠点として、多くの団体や市民の皆様に積極的に活用いただくことを期待しております。
24	—	新市庁舎建設にあたり建設予定地に反対意見	アンケートを見ると1わかりやすい窓口と5項文な建物がかなりの重要度を占めている。昭和49年建設の当時と違って地震、津波被害が日本各地で明らかになっている現状、災害時の拠点となる必要が市庁舎には求められている。そのことを鑑みると、昭和49年当時には問題なかった市庁舎の場所そのものが災害には脆弱であり、市庁舎候補地が海拔の低い鷺津地域に再び建設するのは将来の災害対策として間違っていると考えます。せっかく海拔の高い地域、白須賀、新所原地区があるのだからそちらに建設した方が将来のためです。今やリスク分散は当たり前です。市庁舎の不便性は真ん中が吹き抜けのボンコツ設計だからです。普通の建物ならかなりの問題は解決できます。せめて防災拠点は高台に建設すべきです。高台も候補地にして再び市民にアンケートなりパブリックコメントで意見を聞いてください。	ご意見ありがとうございます。 市庁舎に強靭な耐震性が求められることには変わりありませんが、災害時の拠点となる湖西市防災センターは、現在建設中の湖西市消防防災センターと複合されることとなっております。また、建設候補地としている2つのエリアはいずれも海拔の低い地域となっておりますが、津波浸水区域とはなっていません。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

※ お寄せいただいたご意見について、適宜要約させていただいております。